晴姿一番纏（1956）

メディア 映画
ジャンル
製作国 日本
色彩 B&W
時間 65分
初公開日 1956/01/15

【解説】
山手樹一郎の原作をもとに「雄呂血の秘宝」の結束信二が脚本を書き「薩摩飛脚」の河野寿一が監督。中村錦之助が勇ましい火消しといなせなやくざを演じた。
ほ組の小頭である纏持ちの矢太郎は、恋人お京にしつこく言い寄る旗本の鷲津甚之助と喧嘩をしたことから、江戸を追われることに。出て行く矢太郎と入れ替わりに、矢太郎の実父である武家の水島勘左衛門が、ほ組の頭取である金五郎のもとに姿を現せたが、二人は再会できぬまま別れてしまった。二年後、やくざ者となった矢太郎は赤鬼一家と乱菊一家との抗争に巻き込まれ、赤鬼組の親分を斬った。旅の途中で矢太郎はお京と再会するが、彼女は鷲津に父を殺された上に体を奪われ、借金百両のため女衒に売られるところだった。矢太郎は賭場で百両を手に入れお京を救うのだったが、賭場を開いていた伝蔵一家に追われる身となり…。

【クレジット】
監督 河野寿一
企画 田口直也
小川三喜雄
原作 山手樹一郎
脚本 結束信二
撮影 坪井誠
美術 塚本隆司
音楽 高橋半
出演 中村錦之助
千原しのぶ
三笠博子
星美智子
長谷川裕見子
月形龍之介

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.